

組合員資格取得（個別交付）の対象者について

（１）変更内容

これまでは、一斉交付(*1)対象者であっても個別交付(*2)申請提出締切日までに個別交付で書類が提出された方には資格確認書を個別交付していましたが、今後は、組合員資格取得は一斉交付を基本とし、発令が遅れている方、時間講師の方、産休・育休代替教職員等で当初の発令が２か月に満たない方及びその他給与支給機関からデータの提供がされない方のみ個別交付の対象とします。

(*1) 手続書類を共済組合から自動的に一斉交付し、届出等は事後的に行っていただく便宜的な方法

(*2) 届出等を個別に行っていただく本来的な方法

	変更前	変更後
資格確認書交付の時期	一斉交付前でも、毎月の個別交付申請提出締切日までに個別交付により資格取得届書が提出された場合は随時交付していました。	個別交付による資格取得届書が提出された場合、一斉交付の対象となる方については交付しません。
一斉交付の対象者	給与支給機関からデータの提供がされる方	
個別交付の対象者	① 発令が遅れている方 ② 時間講師の方 ③ 産休・育休代替教職員等で当初の発令が２か月に満たない方 ④ その他、給与支給機関からデータの提供がされない方 ⑤ 毎月の個別交付申請提出締切日までに資格取得届書が提出された方	① 発令が遅れている方 ② 時間講師の方 ③ 産休・育休代替教職員等で当初の発令が２か月に満たない方 ④ その他、給与支給機関からデータの提供がされない方

（２）一斉交付の対象者が個別交付で届書を提出した場合

１２月２日以降は、既に個別交付で提出済であっても、給与支給機関からデータが提供された場合は一斉交付扱いとなり、行き違いとなります。一斉交付で資格確認書と印字済の「一般・短期組合員資格取得届書」が届いた場合は、資格確認書を組合員に交付し、資格取得者等チェックリストの備考欄に「個別交付で届書提出済」と記入し「一般・短期組合員資格取得届書」は未記入のまま共済組合に返却してください。

（３）適用年月日

令和７年１２月２日以降に共済組合で受け付けた書類から変更を適用します。

（４）資格確認書が届くまでの間に医療機関等を受診する場合

所属所において「組合員資格証明書」〔用紙No.資格証明〕を発行願います（福利厚生事務の手引（令和６年１月）４０ページを参照してください。）。

なお、資格確認書が届く前であっても、マイナポータルに資格情報が反映されていればマイナ保険証で受診できますので、その場合は資格証明書を発行する必要はありません。

＜ご注意ください！＞

資格証明書の発行は、組合員本人又は既に認定されている被扶養者（組合員種別変更・番号変更となった組合員の被扶養者など）に限ります。認定申告予定であるが未だ被扶養者として認定されていない被扶養者については、資格証明書を発行することはできません。